



国宝と称されるマンガリツァ豚をPRするトート・ペーテル会長(左)

マンガリツァ豚飼育者連盟会長が講演

9月8日、ハンガリーは、国宝「マンガリツァ豚」の紹介で、ハンガリー国立マンガリツァ豚飼育者連盟のトート・ペーテル会長が次のように講演した。

世界で唯一、体が毛に覆われている豚で、ウーリビック(羊豚)と呼ばれる。また、世界で最も脂肪率が高い豚で、第二次世界大戦まで数百万頭の規模で飼育され、サラミ系の加工品に使うラードの原料であった。

1994年に遺伝子保護を主目的に国立マンガリツァ豚飼育者連盟(MOE)が設立され、マンガリツァ豚の遺伝子保護②血統証明書を

発行(国が認証したフリーダ協会の承認)③飼養記録簿の作成④飼養管理⑤流通経路の確立、市場の厳重に管理する⑥農業省

の結果、MOEが発行した原産証明があつて初めてマンガリツァ豚の銘柄を呼称でき、国宝ながら食用に回せることになった。

脂肪の中にオレイン酸が47%含まれている。マンガリツァ豚の食肉加工から「現在のマンガリツァ豚の繁殖雌豚は8千頭をリードし、同ブランドの販売普及に大きく貢献している。」と回答があった。

今回のフェアには日本獣医学生命科学大学の永村教授と植村会長、トート会長により、マンガリツァ豚の飼養管理や日本のニースなどで多くの意見が交換された。

7億円。要求ポイントは「わが国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」関連予算1兆2538億円(復興計上分を除く)で、持続可能な力強い農業の実現8165億円、6次産業化・成長産業化のうち6次産業化に200億円などが措置されている。

252億円再生可能エネルギー比率を3年間で3倍に④森林・林業再生1791億円⑤水産業再生1262億円⑥震災に強い農林水産インフラの構築・原発事故からの復興等568億円(放射性物質による農畜産物等影響実態調査対策4億円など)

輸出促進・食文化の海外発信233億円、輸出総合サポートプロジェクトの実

には198頭と絶滅寸前になった。1991年にマンガリツァ豚飼育者連盟が設立され、遺伝子銀行から飼育業者、食肉産業を経て消費者までの流通経路の確立、市場の厳重に管理する⑥農業省

食肉手帳 「2013 DIARY」

タイプ版の申し込みを開始しました。食肉手帳は、1週間単位で予定が書き込めるカレンダー式のポケットサイズ手帳です。

巻末には「業界関係者必携の手帳」月27日です。お問い合わせ

予約の受付開始 締め切りは9月27日です。お問い合せ

「食べられる国宝」豚

ハンガリーフェア開催

と協力して、省令・支援の準備に専門家としてアドバイスを行う⑥マンガリツァ豚の宣伝・啓もう活動を行う⑦などの事業を展開し、頭数も流も大きく前進した。こうしたMOEの活動

（株）食肉通信社